

平成25年10月10日

会員各位

美しい多摩川フォーラム事務局

## 平成25年度 第2回 地域経済活性化部会

◆ 10月10日(木)、美しい多摩川フォーラムの平成25年 第2回 地域経済活性化部会が開催されました。概要は下記のとおりです。

- ・開催日時：平成25年10月10日(木) 15時～16時半
- ・開催場所：立川グランドホテル 3F サンマルコ
- ・出席者：会長、部会長、副部会長、運営委員、会員等

### ◎ 地域経済活性化部会の概要

#### 1. 開会

#### 2. 部会長挨拶

#### 3. 経過報告 ※はビデオ放映

- (1) 多摩川っ子(第6号)発刊(7/9)【資料1】
- (2) 第23回・狛江古代カップ・多摩川いかだレース参加(7/14)※【資料2】
- (3) 多摩川“水”大学講座(7/19、9/20)【資料3】
- (4) 第6回・子どもカヤック体験教室開催(7/20)※【資料4】
- (5) 「東北・夢の桜街道推進協議会」平成25年度総会開催(7/29)【資料5】
- (6) 東急百貨店より第4回「ココエコチャリティー」の寄付金贈呈(7/30)【資料6】
- (7) 多摩川1万人の清掃大会参加(8/4)【資料7】
- (8) 第5回・炭焼き体験と水辺の交流会開催(8/23)※【資料8】
- (9) 第1回・大人のカヤック体験教室開催(9/23)【資料9】
- (10) 第6回・美しい多摩川フォトコンテストの募集開始(10/1～12/31)【資料10】
- (11) 多摩川“水”大学講座(10/18、11/15)【資料3】
- (12) 第6回・たまりバー50キロ命名記念・RUN&WALK開催(10/19)【資料11】
- (13) 第5回・美しい多摩川クリーンキャンペーン開催(11月)【資料12】
- (14) 第6回・多摩川子ども環境シンポジウム開催(12/14)【資料13】

#### 4. 意見交換

- (1) 既存事業の見直し等について【資料14】

(大人のカヤック体験教室の定例事業化、多摩川酒蔵街道、多摩川レガッタ開催、

美しい多摩川クリーンキャンペーン実施場所の見直し、駅から歩くウォークラリー「えきぼ」の企画協力について等、その他)

(2) その他

5. 部会長総括

6. 閉会

1. 開会 (初参加者紹介および資料確認)

(事務局)

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成25年度第2回地域経済活性化部会を始めさせていただきます。本日はじめて部会にご出席される方をご紹介いたします。

(大田区 都市基盤整備部 臨海部 基盤担当課長 伊熊 香里 様)

伊熊と申します。普段から大田区としてこのフォーラムに参加させていただき、今回も非常に楽しみにしております。よろしくお願いいたします。

(大田区 産業経済部 観光課 主任主事 矢島 浩輔 様)

矢島と申します。本来、観光課長の青木が出席する予定でしたが、別件があり、代理で出席させていただきました。大田区も、多摩川をはじめ、水の資源が多くある区で、先週、国体でカヌー競技が開催され、無事に終わりました。こちらの取り組みについても、勉強しながら連携させていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

(東京急行電鉄株) 都市開発事業本部 ビル事業部 二子玉川ライズ推進部

企画担当課長 猪口 泰幸 様)

猪口と申します。この春、私どものイベントで、「夢の桜街道」のパネルをお借りした縁もあり、今回初めて出席させていただきました。よろしくお願いいたします。

(サンケイリビング新聞社 エリア営業局 多摩本部 副部長 石川 孝志 様)

石川と申します。いつも会合には、編集長の石川が出席していると思いますが、本日は営業の石川が出席させていただいております。「リビング多摩」は、タブロイド版の新聞で、全国で発行しております。我々多摩本部は、多摩エリアに165,000部発行しております。よろしくお願いいたします。

(㈱阪急交通社 団体営業部 東京団体支店 営業二課一係 市川 秀夫 様)

市川と申します。多摩川は、毎日のように橋を通っており、羽村では、趣味で保全

活動もやっております。これからもよろしく願いいたします。

(事務局)

有り難うございました。一点ご紹介があります。フォーラム会員で㈱はとバスの江沢副部長さんが、「はとバス ヒットの法則 23」という本を出版されました。この本の中で、「多摩川夢の桜街道」七十五番札所・龍珠院や、当フォーラムについて紹介されていますので、その部分をコピーして皆さんにお配りいたしました。併せて、「多摩川夢の桜街道」のA3マップと携帯マップをお付けしておりますので、身近な方にPRをお願いいたします。

それでは、細野会長からご挨拶をお願いいたします。

## 2. 部会長挨拶

(細野会長)

平成25年度・第2回地域経済活性化部会でございます。本日は、ご多用のところ、お集まりいただき有り難うございます。先日、東京オリンピック開催が決定し、現在は東京スポーツ祭が開催されています。全国で初めての動員数になるのではないかと思います。スポーツとツーリズムは、親和性がありそうな気がします。今日も、議題が盛り沢山です。美しい多摩川フォーラムのスケール・メリットを活かした形で、どういう事業展開ができるか、皆さんと一緒に議論したいと思います。

それでは、事務局より経過報告をお願いします。

## 3. 経過報告

(事務局)

はい、前回6月の活動部会以降の当フォーラムの活動につきましては、お手元の資料にて時系列でお示ししております。それでは、はじめに(2)番、(4)番、(8)番をビデオにまとめておりますので、前方のスクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

経過報告を続けます。

### (3) 多摩川“水”大学講座(7/19、9/20)【資料3】

- ・ 【資料3】をご覧ください。今年度は、国分寺市との共催のもと、5月17日に開講し、順調に進んでおります。講師には、当フォーラムの小倉副会長をお迎えし、講座を通じて「水環境のリーダー」の養成を目指しています。本件につきまして、共催の国分寺市都市建設部緑と水と公園課 大庭課長様に、一言お願いします。

(国分寺市 都市建設部 緑と水と公園課 課長 大庭 章 様)

国分寺市には、多摩川は流れておりませんが、支川の野川が流れています。この「水大学」ですが、参加者の方も非常に喜んでいただいておりますので、今後も継続して続けていただければと思います。

**(5) 「東北・夢の桜街道推進協議会」平成25年度総会開催 (7/29) 【資料5】**

- ・ 【資料5】をご覧ください。平成25年7月29日、平成25年度総会が山形県の山形市で開催され、当フォーラムより同協議会への拠出金について、平成25年度1,900,000円が承認されました。平成25年度の活動の全体像が次ページにありますので、ご参照ください。

**(6) 東急百貨店より第4回「ココエコチャリティー」の寄付金贈呈 (7/30) 【資料6】**

- ・ 【資料6】をご覧ください。平成25年7月30日、株式会社東急百貨店本社にて、今年も東急百貨店のココエコチャリティー・イベントによる売上金の一部556,772円が、当フォーラムに寄付金として贈呈されましたので、ご報告致します。

**(9) 第1回・大人のキャック体験教室開催 (9/23) 【資料9】**

- ・ 【資料9】をご覧ください。平成25年9月23日、NPO法人青梅市カヌー協会、サンケイリビング新聞社多摩本部のご協力のもと、大人のキャック体験教室を開催しました。昨年は、農林水産省関東農政局の交付金事業の一環でテスト開催したところ、大変好評だったことを踏まえて実施されました。参加者募集の告知については、当フォーラムのホームページのほか、サンケイリビング新聞社が発行している「リビング多摩」にもご掲載いただき、9月2日に受付を開始したところ、わずか30分で定員に達し、人気の高いイベントであることが裏付けられました。

**(12) 第6回・たまりパー50キロ命名記念・RUN&WALK開催 (10/19) 【資料11】**

- ・ 【資料11】をご覧ください。これは、昨年寄付金贈呈の様式です。昨年は、地元の中学生も有志で参加され、記念の第5回に花を添えました。来る10月19日に今年も大田区民有志により実施される予定で、フォーラム事務局も大田区丸子橋から一緒にスタートし、タスキをつなぎながらゴールの羽村市役所を目指して激走します。

**(13) 第5回・美しい多摩川クリーンキャンペーン開催 (11月) 【資料12】**

- ・ 【資料12】をご覧ください。美しい多摩川クリーンキャンペーンのチラシです。第1回目は5団体からスタートし、今年度は21団体が連携団体として名を連ねて

います。今回、行政では、あきる野市、小金井市、民間企業では、日野自動車、カシオ計算機、大和ハウス工業が新たに参加する予定です。なお、ポスターにつきましては、A1サイズで作成し、今月中旬に各連携先に配布する予定です。

#### (14) 第6回・多摩川子ども環境シンポジウム開催(12/14)【資料13】

- ・【資料13】をご覧ください。今年も、新たに参加される1団体を加え、現在のところ、8団体が確定しております。最終的には、10団体を目標に、各参加団体と調整中です。経過報告は以上です。細野会長、よろしくお願いします。

(細野会長)

事務局からの経過報告で何かご質問等はございますか。ないようでしたら、意見交換に進めます。

#### 4. 意見交換(部会長)

(細野会長)

はじめに事務局の方から説明してください。

##### (1) 既存事業の見直し等について【資料14】

(事務局)

【資料14】をご覧ください。これは、今回の部会ご案内に同封させていただいたアンケート結果をまとめたものです。このアンケートは、フォーラムが設立7年目に入り、既存事業の見直しや新しいアイディア等、会員皆様のさまざまなご意見をお伺いしたものです。まだ速報の段階です。今日はこのアンケート結果とともに、別添のA3の資料をご覧くださいながら、既存事業の見直し等について意見交換したいと存じます。細野会長、よろしくお願いいたします。

(細野会長)

始めに、「大人のキャック体験教室の定例事業化」について事務局より説明してください。

(事務局)

先ほど経過報告でもお話ししましたが、今年度第1回目として開催した「大人のキャック体験教室」に実際に参加されてのご感想や評価について、サンケイリビング新聞社エリア営業局多摩本部副部長の石川様にお願いしたいと存じます。

(石川様)

今回、このイベントの開催告知についてご協力させていただきました。その記事を見て、私が個人的に、子どもの頃にオリンピックの映像で見たカヌーのシーンが忘れられなくて、非常に参加したいと思い、実際に参加させていただきました。アンケート結果にもあるように、地元のスタッフの方も非常に親切で、「大人だけ」というのが、このイベントのひとつの魅力だったのではないかと思います。参加した方の年齢は様々でしたが、「子どもがいないと、大人ってこんなにはしゃぐんだな」と思うくらい、楽しい一日となりました。

このイベントを経験し、同様のイベントが開催されているかどうか、調べてみました。川があっても、カヌーやカヤックが出来る場所は限られていて、東京の中でもごくわずかに、全国を見渡しても、山口県の行政が、「大人のカヤック」みたいなことをやっているだけのようです。そのため、このイベントは、エリア特性と言いますか、他では出来ない事業であると思いますので、この事業は、個人的な想いも含め、ぜひ定例化事業にしてほしいと思います。現段階で、かなり高評価をいただいているイベントですが、もっともっと良いイベントに発展する可能性のある、ポテンシャルの高いイベントだと思います。

(細野会長)

有り難うございました。受付開始後、30分で定員に達したとのことですが、もう少し定員を増やすことは出来ないのですか。

(事務局)

安全面の確保とカヤックの数を考えると、40名（20名ずつ2班）が限界だと考えます。

(細野会長)

ただいまのご提案について、皆さん、いかがでしょうか。事業化いたしますか？（会場より拍手）では、定例事業化ということで、よろしく願います。ただ、事故が怖いので、気をつけてください。

(事務局)

事故が起きたら大変ですので、青梅市カヌー協会さんからスタッフとして約20名ご参加いただき、全員ライフジャケットを着用し、安全面には万全を期しております。また、受付開始後30分で定員に達するイベントは、フォーラムの中でも1、2を争うと思います。では、定例事業化に向けて、検討を進めていきたいと思いますが、最終的には、11月7日の運営委員会に諮りたいと思います。

(細野会長)

次に、多摩川酒蔵街道について事務局より説明してください。

(事務局)

A3の資料をご覧ください。多摩川酒蔵街道については、これまで中期的な案件として位置づけてまいりました。事務局では、今回の事業見直しのタイミングで、小澤酒造取締役社長である小澤運営委員と、実現に向けて相談を始めたところです。本件につきまして、小澤運営委員より一言お願いします。

(小澤運営委員)

多摩川酒蔵街道については、あいまいな形ではありますが、前々から事務局より相談を受けておりました。我々業界としても大変有り難いことなので、「ぜひともよろしくお願いします」ということで、現在に至ります。具体的に説明すると、東京都には9つの酒蔵があり、そのうち5蔵が西多摩に集まっていますので、「西多摩は酒処である」とも言えます。水に関連する仕事でもあるので、多摩川フォーラムとイメージ的に近い部分があるのではないのでしょうか。日本の流れでも、「酒蔵ツーリズム」という言葉があるほど、日本酒を世界に広める「國酒プロジェクト」が進められています。まな板の上に乗せていただいて、色々な方々のご意見を聞きながら、多摩川フォーラムの中で、皆さんに喜んでいただける事業に仕上げさせていただければと思います。我々業界としても、出来る限りのことはさせていただきたいと思います。

(細野会長)

今日の部会参加者の中にも、お酒の好きな方が多そうですが、石黒さん、いかがでしょうか。

(石黒様)

大賛成です。私は日本酒が大好きで、先ほど話のあった西多摩5つの酒蔵全てに見学に行きました。都内から知り合いを集め、酒蔵を見学後、近所の集会所などに買ったお酒を持ち込んでパーティーをやっています。『大人の遊び』の一環として、「酒蔵」や「食」など、色々なものを混ぜていけば良いのではないかと思います。

(細野会長)

有り難うございました。事務局のほうでは、どのように進める予定ですか。

(事務局)

小澤運営委員は、西多摩にある5つの酒蔵の支部長を務めていらっしゃいます。副

支部長は、田村酒造さんが務めていらっしゃるしまして、来週事務局で、田村酒造さんを訪問し、「多摩川酒蔵街道」の話をさせていただく予定です。今後、ワーキンググループを発足させ、「多摩川酒蔵街道」についての検討を進めたらどうかと考えます。小澤酒造さんでは、今年は10月26日に蔵開きを開催されるようなので、例えば、秋に酒蔵を巡るようなPRが出来れば良いと思います。

(細野会長)

皆さん、いかがでしょうか。(会場拍手)では、ワーキンググループを立ち上げることにいたしましょう。皆さん、ぜひグループの会合に参加してください。

次に、多摩川レガッタ開催について、事務局より説明してください。

(事務局)

多摩川レガッタ開催については、平成20年10月、電通によるフィージビリティ・スタディ(実行可能性の検証)から、実現するためには、いくつかの課題があり、短期的に実現は難しいという結論に達し、A3の資料にあるように長期的案件として位置づけました。しかしながら、5年が経過し、改めてこの機会に見直したいと思えます。当初は国際レースを展望しておりましたが、コンパクト化を図ることも視野に入れてはいかがでしょうか。この件について、大田区の「多摩川でボートを楽しむ会」の福田様にご意見をお願いしたいと存じます。

(福田様)

当会では、ボート競技の普及を目指し、手漕ぎボートに都合良く、自然環境にも恵まれた多摩川下流域を選定し、ボート教室を発足しました。「レガッタ」というのは、単なるボートレースのことで、「レガッタ」をやる以上は、それなりの練習が必要になります。そこで、ボート教室を行い、成果の発表の場という位置づけで、「多摩川レガッタ」を開催しております。フォーラム発足時に、団体として入会した際、現況をプレゼンテーションさせていただいたところ、当フォーラムの次の部会で取り上げていただきましたが、スケールが大きすぎて、その後ペンディングになっております。当会のスタッフは、ほとんどがリタイア組で、交通費も日当も出ず、弁当代だけ取られることから、裾野が広がらず、今のレガッタのこれ以上の拡大は望めない状況にあります。東京オリンピックのボート競技開催会場は、東京湾の「海の森公園」脇に作ることが既に決まっていることから、私たちの今の望みは、かつてワールドカップで、大分県のある村が合宿所になったように、東京オリンピックでの、選手の練習場という形で整備すれば、広く認知されるのではないかと考えます。当初の企画から方向を変換・縮小し、進めたいと思っており、既に大田区に話をしております。大田区には、過去にも、羽田空港跡地利用の問題や、スポーツ推進計画のパブリック・コメントに、



お願いという形で意見させていただいており、着々と進んでいるのではないかと勝手に考えております。

(細野会長)

今日は大田区さんが出席されているので、意見を伺いましょう。

(大田区 伊熊様)

スポーツ推進計画については、「する」スポーツ、「観る」スポーツ、「支える」スポーツということで、生涯スポーツという意味も含めて推進していこうという動きがあります。練習場については、検討課題も多いと思うので、今の時点ですぐということにはなりません、推進計画に沿って、オリンピックとの関わり方についても、区として検討を始めたところですので、今後ともよろしくお願ひしたいと思ひます。

(藤井様)

東京オリンピック開催が決定し、ボートに関する状況も、様変わりしてきています。私の後輩である大田区議会議員から、9月中旬に電話があり、『多摩川で国際的なボートレースをやる』ことに関して資料はないか」と聞かれ、資料を渡しました。将来的には、イギリス・オックスフォード大学やケンブリッジ大学、アメリカ・ハーバード大学やエール大学を招待できるような、世界のボート会のメッカになれば良いなど思っておりましたが、私の後輩は、それをアレンジして、区議会で次のような発言をしました。「大田区には、国際空港である羽田空港があり、一番近い川は多摩川です。世界的に有名なレガッタには、イギリスのテムズ川で1839年から毎年行われている漕艇の祭典・ヘンリーレガッタや、オックスフォード大学とケンブリッジ大学の対抗戦などがあります。都内近郊の大学対抗戦や羽田空港の地の利を活かした全国大会、そして、オックスフォード大学などを招待して開催する国際大会など、羽田空港をもっと活かすためにも、多摩川でボートがもっとしやすい環境の整備、つまり、乗り場や艇庫といった環境の整備を含め、検討すべきと考えますが、いかがでしょうか？」これに対し、大田区の返答は、次の通りです。「大田区は(多摩川の)広大な流域面積を有し、区内では豊かな干潟環境や各種河川敷施設等を利用して、様々な活動が展開されています。今後は、こうした特色を十分活かしながら、これらの水辺空間を国際交流にも役立てていきたいと考えています。ボートの艇庫や乗り場については、多摩川を管轄する京浜河川事務所や地域団体と調整を重ねつつ、活動目的や形態に合った整備内容を検討していきます。」これに関し、東京都とは話が進んでいるようで、「国交省と話をしてOKになれば、当然予算も付きますから、話は大いに進展すると思ひます。」という返事をいただひています。この話は、事務局から話があつた通り、5年前にフォーラムの中で話が進み、電通にお願ひして検討もしてもらひましたが、

「直線距離だと厳しい」とのことでした。今、隅田川の吾妻橋から桜橋にかけて、毎年早慶レガッタをやっていますが、直線ではなく、ゆるやかに湾曲しており、その中には京成電鉄の橋脚もあるし、言問橋もあります。早慶レガッタは、記録ではなく、順位ですので、大田区のように、湾曲した多摩川でも出来ないことはないと考えます。現在、オリンピックを契機に、東京都は乗り気です。国交省も乗ってくる可能性はあります。そうなると、本格的に艇庫を作ったり、様々な整備がなされ、世界的なボートレースができる可能性が出てくると思います。10年後には、オックスフォードやケンブリッジ大学を招くとか、ハーバードやエール大学を招いて大学対抗戦を行うなどの話が出てくる可能性がありますので、今後の動きに注目しています。

(細野会長)

この件について、事務局の方で何かプランはありますか。

(事務局)

ただいま、電通さんのフィージビリティ・スタディの資料を皆さんに回覧中です。当時、かなり詳細に調べていただきましたが、いくつかの問題が明らかになりました。直線確保の問題や、橋脚、栈橋の問題等です。先ほど藤井さんからお話がありましたような、大きな国際大会や大学対抗戦ですとか、福田さんのお話にあったオリンピックの練習場ですとか、他にもご意見がありましたらお願いします。

(藤井様)

この話は、4年前くらいにかなり進行しました。「ボートを楽しむ会」の当時の会長さんも、真剣に検討してくださいましたが、予算の面、直線距離の問題が出ました。直線で300～500mしか取れないし、予算は100万円かかるとの事でした。エイト（8人）でやるには2000m必要ですから、300～500mでは一瞬で終わってしまいますので、検討の結果、取りやめになりました。ボートは結構お金がかかるのです。バブル時代（平成元年～3年）、墨田区で、「ヘンリーロイヤルレガッタ」がありました。全国の実業団、大学、高校が参加しましたが、3年で終了しました。恐らく、バブルが崩壊し、予算がつかなくなったのではないのでしょうか。ですので、開催する場合には、色々な面で、慎重に考える必要があります。

(細野会長)

これはお金もかかることですし、仕掛けも大変なので、やることを前提にせず、フィージビリティ・スタディのためのワーキンググループを立ち上げることに留めておきましょうか。

(事務局)

東急電鉄の小林様、この件について何かご意見はございますか。

(小林様)

レガッタはあまり詳しくないですが、机上の企画よりも、もう少しブレイクダウンさせた、国際水準ではなくても、何か出来ないかという検討は必要ではないかと思えますので、ぜひワーキンググループを立ち上げていただきたいと思います。

(細野会長)

分かりました。では、幅広に議論いただくようなワーキンググループを立ち上げていただくことで、皆さんよろしいでしょうか。(会場拍手)では次にまいります。

【資料14】のアンケート結果によると、美しい多摩川クリーンキャンペーンの実施場所の見直しについて意見が多いようですが、事務局より説明してください。

(事務局)

青梅市御岳での清掃について、最近ゴミが少ないことから、他の場所を検討してはどうかという意見が多数寄せられておりますが、この点につきまして、以前清掃活動にご参加された経験のある村岡様より、ご意見を申し上げます。

(村岡様)

確かにゴミは少なくなっていますが、探せばありますので、やることに意義があるような気がしますし、他の地域でやってみたらどうかという意見もごもっともだと思います。ただ、清掃活動には、青梅信金さんの職員の方の参加がかなりのウェイトを占めておりますし、青梅信金さんから当フォーラムに多大な資金の援助をいただいています。事務局も青梅信金さんですし、かなり負担がかかっているように思います。私の考えは、清掃活動は同じ場所で継続し、会員を増やして、違うエリアでもやってもらうのが望ましいと思います。場所を変えると、折衝や安全確保の確認作業含め、事務局が大変だと思います。会員が自発的に清掃場所を決めていくような方向性が良いと思います。場所を変えるのではなく、増やすほうが良いと思います。

(細野会長)

今のご意見に対して、事務局から何かありますか。

(事務局)

補足説明をします。今年度のクリーンキャンペーンのポスターに、11団体が記載されていますが、このうち、青梅市御岳で清掃活動を行うのは、青梅市さんと奥多摩

町さん、京王電鉄さん、JTさん、日本フィルター工業さん、大和ハウス工業さん、三井住友海上火災保険さん、青梅信金さんと当フォーラムの9団体です。その他の行政さんと企業さんは、それぞれが決めた場所および日程で清掃活動を行います。例えば、羽村市さんは、ジェイテクトさんと日野自動車さん、カシオ計算機さんと共に清掃活動を行います。御岳の清掃ですが、さすがに9団体が一緒に清掃活動をするとなると、人数が170人にもなり、上流の狭い遊歩道にはゴミもそれほどありませんでした。この青梅市御岳の会場は、毎年8月に開催される青梅市主催の「1万人の清掃大会」の場所と同じであるため、両方の清掃活動に参加しているフォーラム会員の中には、「別の場所でやったほうが良い」と思う人もいるようです。ゴミは少なくとも、人数を減らし、継続して清掃活動を続けるか、あるいは、京王電鉄さんが以前11月に清掃活動を行っていたフィールドに場所を移しても良いかもしれません。ちなみに京王電鉄さんは、今年から時期を5月に移して清掃活動を実施されています。この件について、京王電鉄の右田様、ご意見があればよろしくお願いたします。

(右田様)

我々京王電鉄は、1991年より、「京王クリーンキャンペーン」という名の清掃活動を、多摩川と高尾山の2カ所で、22年続けています。多摩川においては、今年から開催日を5月下旬に変更しました。今までは11月に行っていましたが、社内で「子どもたちに何か生物多様性に関わる取り組みができないか」という意見が出て、山崎運営委員に相談し、稚アユの放流を子どもたちに体験させることになり、清掃時期を5月に変更したのです。当日は、子ども100人が参加し、1000匹の稚アユを放流しました。特に保護者の方から好評をいただきましたので、今後も5月に清掃活動と稚アユの放流を継続していきたいと考えております。この清掃活動を、春だけではなく、秋にも行ったほうが良いのかについては、社内で検討する必要があります。高尾山についても、やはりゴミが非常に少なくなってきました。しかし、ゴミが少なくなっているから清掃場所を変えたほうが良いのではないかと、活動をやめても良いのではないかと、というような意見には、私個人的には賛成できません。ゴミはなくても、「ゴミの無い川、ゴミの無い山」を維持する、予防・啓発的な意味で、このような清掃活動をやっているということを、周りにアピールすることも大切だと思いますので、ゴミの多い、少ないに関わらず、活動を継続することが大事だと思います。

(細野会長)

有り難うございました。とても啓蒙的なお話をいただきました。清掃活動をやると自体が、ゴミの防止にも役立つということでした。今のご意見に対し、事務局はどう考えますか。

(事務局)

貴重なご意見をいただき、有り難うございました。今の件につきまして、とうきゅう環境財団の小野木様、ご意見がありましたらよろしくお願ひいたします。

(小野木様)

確かに、最近の多摩川およびその周辺はきれいになってきていますが、やっど普通の状態に戻ったところだと思ひるので、今のご意見のように、「きれいになったから場所を変えよう」というのは早すぎると思ひます。きれいな状態を維持し続けるという意味で、清掃活動を地道に続けるべきだと思ひます。

(細野会長)

他にご意見はありますか。目立つところがきれいになっているのは、とても良いことだと思ひます。皆さんのご意見をもう少し精査し、検討いただきたいと思ひます。では、次に進めます。駅から歩くウォークラリー「えきぼ」の企画協力について、事務局より説明してください。

(事務局)

J R東日本では、一駅1コースの設定で、「えきぼ」を実施されていますが、ちょうど今、来年度のコース設定について見直しをされているとお聞きしております。そこで、桜の札所巡りのコースを組み入れ、駅からハイキング同様、多摩川夢の桜街道をPRしていけたらと思ひます。J R東日本八王子支社の糸井様、ご意見をお願いします。

(糸井様)

今お話のありました「えきぼ」ですが、J R東日本八王子支社で2年前から始まったウォーキング施策です。「駅からハイキング」と違う点は、お客様が携帯電話のGPS機能を利用し、お好きな時にお好きなコースを歩いていただく、イベント型とは異なるものです。2年前に八王子支社で始まった「えきぼ」は、現在、東京、大宮、横浜を加えた4支社に広まっており、約百数コースを整備しております。先行して始まった八王子支社は、一駅1コースで整備が終了しており、今後はそのコースの見直しが必要になってきます。現在、各駅にアンケートや調査を依頼しており、来年度の4月以降に見直しや廃止、新規コース設定をする予定です。多摩川フォーラムさんと共催で開催している「駅からハイキング」は、八王子支社でも1、2位を争う集客となっておりますので、「えきぼ」でも上手く連携していければと思っております。

(細野会長)

これについて、事務局から何か補足はありますか。

(事務局)

今後、「えきぼ」の企画協力という形でJR東日本八王子支社さんと検討を進めていきたいと思っております。なお、「ダニエル・カール副会長と歩く桜ウォーキング、川崎・大田の桜の札所巡り」ですが、今年度は悪天候により、やむを得ず中止とさせていただきましたが、来年度開催についても検討しておりますので、ご報告いたします。

(細野会長)

その他、事務局で用意しているテーマや検討事項はありますか。

(事務局)

事務局からは以上ですが、他にご意見があれば伺いたいと思っております。

(細野会長)

せっかく【資料14】のアンケート集計結果があるので、この中で検討したい課題があれば、事務局から紹介をお願いします。

(事務局)

今日出席されている石黒様からもアンケートをお寄せいただきましたが、ご提案がありましたらよろしく願いいたします。

(石黒様)

東京オリンピックは、東京都内でコンパクトに開催される予定ですが、私の仲間は、「じゃあ、多摩はどうなるんだ」と言っております。多摩川流域を核にした、「もうひとつの東京」という切り口で、色々な事をまとめ、7年後に向けてアピールをしていく必要があると思っております。

先ほどから、カヤックなどの水辺のスポーツが取り上げられていますが、多摩の奥で行う3種競技として、「タマスロン」と名付け、上流、中流、下流を上手く繋げて出来ないかなと思っております。レガッタのワーキンググループ内で、こういったものも取り上げてもらいたいと思っております。

また、源流域についてもサポートしていけないかと考えます。

(事務局)

今ご提案のあった、「源流から河口まで」という話になると、アンケートの中に「サ

イクリング」というご意見もありましたので、ご参考までにご報告いたします。その他、キャリア・ママ(株)の堤様も何かご意見があればお願いいたします。

(堤様)

レガッタに関する報告書を拝見すると、「女性も子どももほとんど見ていない」と書かれていました。なので、私の中でも遠い存在になってしまっているのだなと思いました。フォーラムの活動に関するアンケート集計結果を見ると、回答率は、個人会員が15%、法人会員が5%、行政会員が25%となっています。清掃活動に関しては、私も多摩市の美化運動をしていますが、参加者側の意見を述べると、ゴミが無ければ活動する1時間のうち何もすることがありません。街の人に「ゴミを捨てないようにしましょう」と書かれたティッシュを配っても、誰も受け取りません。清掃の時に清掃以外のことや、子どもたちもイベントに巻き込めるような仕掛けも盛り込んだら良いのではないのでしょうか。今出来るベストを、その都度考えていくことが大切だと思います。

(細野会長)

せっかく行政さんが加盟しているので、「こういうところが困っている」等のアンケートを取っても良いかもしれません。

(藤井様)

多摩地区には400万人いるのに、東京オリンピックの開催は都心に偏っています。多摩圏民は、東京都や国に対する注文が少ないのではないかと思います。東京都には、多摩地区を担当している副知事がありますので、活用しないと動きません。我々の活動に出席してもらうとか、意見をぶつけるとかをしていかないと、多摩地区の意見は反映されず、活性化には繋がりませんし、地盤沈下してしまいます。以上が、大田区民からの感想です。

(細野会長)

多摩地区に副知事さんがいるとは知りませんでした。

(藤井様)

以前、多摩地区の活性化としてモノレールの話をしたことがありますが、まだ南北の16kmが終わっただけで、後の約90kmは計画されているにも関わらず、未実行なのです。であれば、多摩地区の人々が、「何でやらないんだ」「やれ、やれ」と言ってやらせれば、活性化に繋がります。大人しくしては駄目なのです。行政は、大人しいと動きませんから、声を大にして、下から突き上げていくようであれば駄

目だと思えます。

(宮坂事務局長)

自治体の財政の問題や、事業の採算性がないと動かないという部分もあるので、下から突き上げるだけでは難しいということも分かっていたらと思います。

(藤井様)

それを言っていたら、どんどん地盤沈下するだけです。地元のためには、採算を度外視してでもやるべきです。地場産業を活性化させるにはどうしたら良いかとか、充実させるとか、初めからあきらめないことです。採算が取れなくても、「10年後にはこうなる」と主張すれば、(行政は)乗ってくるかもしれません。あきらめては駄目です。

(細野会長)

有り難うございました。他にいかがですか。

(近畿日本ツーリスト(株) 佐藤様)

清掃活動の件につきまして、今日私は、立川ライオンズの定例会に出席していましたが、立川ライオンズは6月終わりと9月頭に清掃活動を実施しており、時々昭島市さんと連携しています。「ゴミが無い」というのは、恐らく地域のボランティアや企業、行政さんが色々な形で定期的に清掃活動を実施しているので、その活動の直後には「ゴミがない」ということになるのだと思います。そのため、清掃カレンダーのようなものがあれば、お互いが連携して一斉に清掃活動を行うことができるのではないかと思います。私も9月の清掃大会に参加しましたが、ゴミは結構ありました。その翌週に清掃活動をされた方々は、「あれっ、ゴミがないぞ」ということになっているかもしれません。

(細野会長)

カレンダーを作るというのは、良いアイデアですね。他にいかがですか。資料の中に薄い文字で「SL復活」とありますが、消さないようにしましょうね。アンケートの中にも要望があったそうなので。

## 5. 総括・閉会 (部会長)

(細野会長)

お陰様で、美しい多摩川フォーラムもここまでやってきました。設立当初は、あれもやりたい、これもやりたいと言っていましたが、内容によっては後にまわすことも



ありました。いよいよ力も付いてきましたし、皆さんとの連携も徐々に取りれてきました。我々が掲げているのは100年プランですので、夢を語る必要があります。先ほど、「多摩圏民が大人しくしていると、そのうち沈没してしまう」というお話がありましたが、確かにその通りです。すでに人口が減りつつあります。人口が減っても、一人一人が元気になるために、当フォーラムは何が出来るか、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。「多摩川酒蔵街道」については、皆さんに賛同いただきましたので、ぜひ進めていきたいと思います。それでは、平成25年度第2回地域経済活性化部会を終了します。有り難うございました。

以 上